

登録コード	SC802400	開講年度	2026				
授業題目	卒業研究					担当教員	太田 哲
英文授業名	Senior Project					副担当	
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学年	4年
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	26Sカリ, 25Sカリ, 24Sカリ, 23Sカリ						
	【2023年度以降カリキュラム対象】理学の各分野における専門知識					⇔	化学における専門知識を得ることができるようになる。
	【2023年度以降カリキュラム対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し、その成果を的確に他者に伝える力					⇔	専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し、その成果を的確に他者に伝える力を得ることができるようになる。
	【2023年度以降カリキュラム対象】理学の基礎知識と専門知識を活用して課題を発見し取り組み、その成果を社会に役立てる力					⇔	化学の基礎知識と専門知識を活用して課題を発見し取り組み、その成果を社会に役立てる力を得ることができるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	各研究室に所属し、各自の研究テーマに従って研究を行う。内容は各指導教員ごとに異なるので、指導教員の説明を受けること。 なお、授業の一部は教員の地公公務員研究技術職の実務経験を活かして授業を行う。						
(5)授業のキーワード	ディプロマポリシー（DP）における項目 全学DP：自己認識・自己啓発マインド、科学リテラシー、言語能力、コミュニケーション能力・チームワーク力・リーダーシップ、情報活用力、問題発見・解決能力 学部DP：自然科学に関する知識の応用 学科DP：化学の発展的知識、化学実験の基礎的技術、化学技術の発展的技術						
(6)授業計画	1. テーマの設定、先行研究の文献調査 2. 実験の実施、データ収集・分析 3. 論文執筆、推敲、文献リスト作成 4. 提出・授業アンケート 具体的な授業計画は各指導教員ごと、またはテーマごと異なるので指導教員の説明を受けること。						
(7)成績評価の方法	指導教員のもとで計画した初期目標にどのように努力して到達しようとしたかを評価する。また、研究を通して論理的思考能力・表現力・応用力ないし問題解決能力をどの程度身に付けたかを評価する。						
(8)成績評価の基準	授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」						
(9)事前事後学習の内容	各指導教員の説明を受けること。						
(10)履修上の注意	未知の課題に取り組むには、長時間にわたる実験や予習が不可欠である。研究に取り組むための生活基盤を整えられるようにすること。						
(11)質問,相談への対応	日常的に、各指導教員と質問または相談する。						
【教科書】	適宜指定する。						
【参考書】	適宜指定する。						